

市内には2種類のカラスが生息しています。



くちばしが太く性格が荒い
ハシブトガラス



くちばしが細く大人しい
ハシボソガラス

ハシボソガラスの巣を撤去すると、その場所へハシブトガラスが巣を作り侵入する可能性があるため、ハシボソガラスの巣は撤去しないほうが得策と言われています。

カラス被害を防ぐために

子育てカラスの習性

威嚇の種類

①「ガアガア」と大声で鳴く

②枝や電線をつつく、枝や葉をちぎって下に落とす

③人の頭上を低空飛行する。



より激しい威嚇→

身を守るためのポイント

①巣に近づかない。

子育て時期のカラスは警戒心が非常に強いです。近づいて巣を見つめたりすることは控えましょう。



②帽子や傘で後頭部を守る。腕を真っ直ぐ上げて通行する。

鳥類は羽に傷がつく恐れのあるものには近づかない性質があります。



③襲ってきてどうしようもない時はカラスから目を離さない。

低空飛行して襲ってくる場合は、カラスから目を離さないように後ずさりしてその場を離れましょう。カラスは背後からしか襲ってきません。

絶対ダメ!

巣から追い払おうと、石を投げるなどの行為をすると、威嚇がより激しくなってしまう、逆効果です。

被害が多いのはいつ頃？
子育て時期（4月～7月）は、親ガラスが卵やひなを守るために威嚇を行うことがあります。威嚇を行う期間は、産卵後から卵がかえるまでの約3週間に加え、巣立ちまでの約1か月間の計2か月間ほどです。カラスはひなへの愛情が深く、熱心に子育てする鳥なのです。

カラスの巣を見つけても無関心を装いましょう。

どんなところに巣を作るの？
いつもカラスに荒らされるごみステーションの近くで、大きな針葉樹のある場所は巣が作られやすいポイントです。針葉樹は風通しがよくなるように剪定し、付近のごみステーションの管理を徹底しましょう。

カラスが巣作りをする季節を迎えています。カラスの被害に遭わないためにカラスの習性を知っておきましょう。

【詳細】環境課自然環境担当 ☎ 381-1046

緑の相談Q&A

緑に関する相談は環境課 ☎ 381-1046

■ 日当たりの良し悪しや風通しも大切ですが、植物が根を張る土の性質が重要です。根が元気に育つためには、適度な通気性と保水性が重要です。雨が降ればグシャグシャに、天気が続くとカチンカチンに固まってしまふような所や、隙間の多過ぎる保水力のない砂地などでは植物は育ちません。

この排水と保水に重要な働きをするのが、植物の茎葉などが腐った腐植質です。腐植質が微細な土粒を結び付けて固まり団粒を作ることで、土が柔らかくなり、水と空気が通いやすくなります。また、一般に植える草花、庭木はpH6.5の弱酸性の土が適当ですが、酸性度の強い所では中和する必要があります。土を起こして消石灰や苦土石灰を土全面にうすうすらと白くなるくらい撒いて耕すと良いです。

Q 美しい草花や庭木つくりを成功させるには？

庭作りは土づくりとで、土中にすき間を作り、さらに腐植質は保水性があるので、必要な水分を保持してくれます。つまり、良い土とは団粒化した土のことであり、水や肥料分を含むことで、その湿った隙間に根毛が伸びていき、生き生きとした植物を育てるのです。

土を改良するには、良質な畑土との入れ替えが理想ですが、費用が高くなるので、一般家庭では堆肥や腐葉土などの腐植質を十分入れて、深く耕し、土壌の団粒化をはかりましょう。

毎年4～7月にかけて、カラスが電柱に巣を作ります。巣の材料には針金などの金属が使われることがあり、それらが原因で停電が発生する場合があります。

北海道電力では、こうした停電を未然に予防するため、電柱にカラスが巣を作りづらくする工夫や、臨時巡視を行い、巣を撤去するなどの対策を実施しています。

電柱にカラスの巣を見つけた場合には、情報提供をお願いします。

【詳細】北海道電力札幌東支社配電課 ☎ 892-8113

電柱にカラスの巣を見つけたら北電に連絡を

